

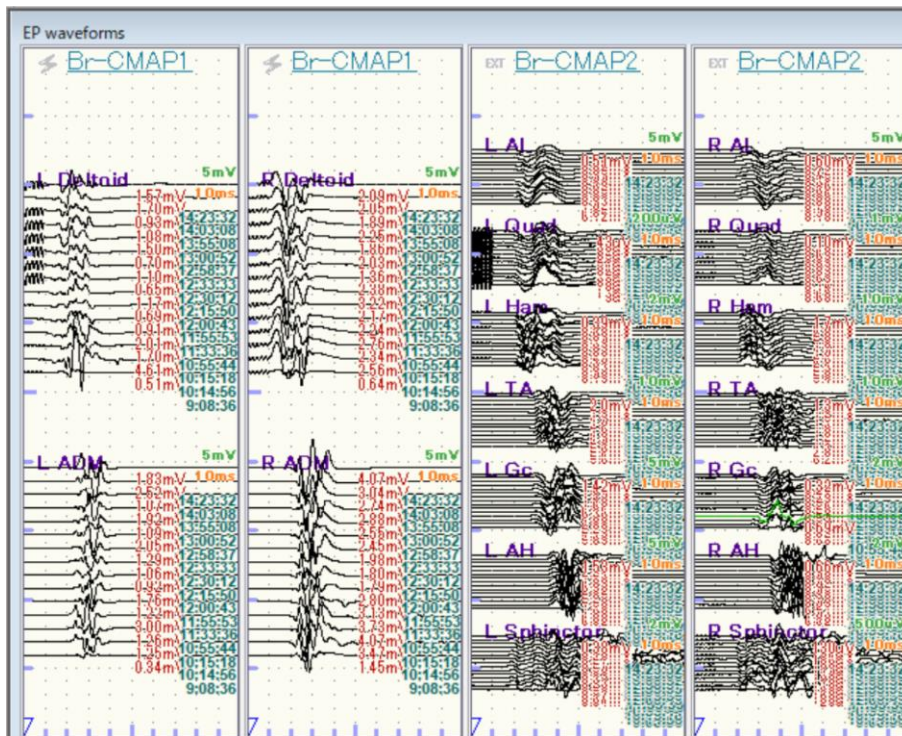
脊髄モニタリング波形レポート

施設名：〇〇病院

過去5年以内に行われた手術とする。同一患者でTc-MEPとSSEPを行った場合であっても、(両方の波形を提出しても) 1例とする

症例番号	#####	主治医	####
性別	女性	検者	####
年齢	18歳	手術日	####年#月#日
診断	特発性側弯症		
術式	矯正固定術		
波形コメント	<p>記録電位：Tc-MEP</p> <p>記録部位： 上肢(コントロール)：三角筋、小指外転筋 下肢：長内転筋、大腿四頭筋、ハムストリングス、前脛骨筋、腓腹筋、母趾外転筋、外肛門括約筋</p> <p>所見： 波形導出時より、全筋導出可能。展開、スクリー設置、片側ロッド設置、矯正、ロッド締結まで、終始波形変化は認めず。最終的に波形悪化は認めなかった。</p> <p>判定：True Negative(真陰性)、True Positive(真陽性)、False Positive(偽陽性)、False Negative(偽陰性)の適正な判定を行うこと</p> <p>波形悪化なし、術後麻痺なし→True negative症例</p>		

モニタリング波形 貼付部 手術開始～術中操作(除圧操作・スクリー操作など)～終了までの複数回波形が必要



- ・波形一覧が貼付不可の場合、波形キャプチャーでも可(ただし術中の手技に伴う複数回波形を載せること)
- ・波形提出不可の機種の場合
 Amplitudeの変化を示せるデータ提出(10例)と、モニタリングに関する論文1篇以上(自著・共著いずれでも可能であるが、過去10年以内のもの)を提出すること

署名 〇〇〇〇